

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇日教組中央執行委員長メッセージ
◇日政連議員メッセージ 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人：西村恭介 編集人：兵高教書記局

一人ひとりの尊厳が守られる平和な社会の実現に向けて

兵高教組合員のみなさま、あけましておめでとうございます。
年頭にあたり、執行部を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も、私たちの願いとは裏腹に国内外の情勢は厳しさを増すばかりでした。3年目となった新型コロナウイルス感染症の蔓延は未だ収束の兆しを見せず、子どもたちの学びや生活への影響は続き、学校現場の負担は増大する一方です。

ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵攻開始から10か月余りが過ぎましたが、戦闘は収まることなく、子どもたちを含む数多くの市民の犠牲が増え続けています。どんな理由があろうと、戦争が始まれば犠牲となるのは一般市民です。77年前の悲惨な経験をふまえ、恒久平和を願い、不戦の誓いを立てた私たちは、誇りをもって「いかなる国にも戦争をしない、させない」ようあらゆる手段を講じて国際社会に強く訴えなければなりません。

しかし、この間の岸田政権の対応は全く真逆で、防衛費の大幅増額、そしてその財源として増税を口にし、「国民自らの責任」と平然と言い放つありさまです。さらには、安全保障3文書改定を閣議決定し、国会での議論もないまま敵基地攻撃能力を保有するとしました。先の大戦での反省から、日本国憲法の前文では「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意」し、粘り強い外交による平和への努力を「政治道徳の法則」としています。この憲法前文の崇高な精神を踏みにじる首相の無責任極まりない発言や、民主主義の原則を無視した閣議決定を繰り返すことは断じて許すことはできません。感染症拡大の長期化や不安定な国際情勢等の影響により、市民生活は一段と苦しくなっています。人々の暮らしを支えるための効果的な政策は何ら示さず、未来を担う子どもたちのための財政支出は出し渋る一方で愚策を繰り返す現政権に対し、私たちはもっと危機感を持ち、声を上げるべきではないでしょうか。

軍備増強に関しては、諸外国に負けじと非常に熱心な岸田自公政権ですが、人権課題に対するとりくみとなると国際標準に後れをとろうが全く意

に介しません。今年9月の国連障害者権利委員会の総括所見では、日本の現状についてさまざまな課題が指摘されており、教育についても第24条に関連して「分離された特別な教育をやめること」「すべての障害児の普通学校への通学を保障し、普通学校が障害児の普通学校を拒否することを許さない方針を打ち出し、特殊学級関連の大臣告示を撤回すること」「すべての子どもたちへの合理的配慮を保障すること」等が求められています。永岡文科大臣は、これに対し「特別支援教育を中止することは考えていない」と現行の分離教育体制を維持する見解を示し、4月27日に発出した「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について(通知)」も撤回するつもりはないとし、勧告を無視する姿勢を続けています。

国連子どもの権利委員会で再三求められてきた「子どもの権利条約」の具現化のための国内法の整備については、昨年ようやく「子ども基本法」が成立しましたが、子どもの権利擁護に対する監視機関の設置が見送られたことや予算の裏付けがあいまいであること等多くの課題が残されており、まだまだ不十分です。

前途多難な状況が続きますが、私たちの粘り強いとりくみの成果も少しずつ表れています。教員免許更新制はついに廃止させることができました。先の参議院議員選挙では、全国連帯でのとりくみの結果、学校現場の代表である古賀千景さんの当選を勝ちとることができました。古賀さんはさっそく国会の場で私たちの声の代弁者として活躍されています。

子どもたちの未来のためにも私たちは諦めるわけにはいきません。一人ひとりの尊厳が守られ、多様性が尊重される平和な共生社会の実現に向け、屈することなくとりくみを続けていく決意をあらためて確認したいと思います。

兵高教運動のさらなる前進には、組合員のみなさま一人ひとりの子どもたちへの思い、教育に対する情熱、そして行動力が必要です。

今年もよろしく願いいたします。

執行委員長 西村 恭介

—2023 年度兵高教本部役員選挙について—

- 選挙公示 1月17日(土)
- 役職(定数)
 - 執行委員長(1) 執行副委員長(1) 書記長(1)
 - 書記次長(2) 執行委員(6) 監査委員(2)
- 立候補受付期間 1月4日(水)～1月19日(木)
- 投票用紙の配布 1月21日(土)
- 投票期間 1月25日(水)～2月15日(水)
- 支部選管に提出 2月16日(木)
- 本部選管に提出 2月17日(金) 午後6時まで
- 開票 2月17日(金) 午後6時半
神戸市教育会館

あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願い申し上げます

書	執行委員	書記次長	書記長	執行副委員長	執行委員長
記					



志水ひとみ	船脇吉広	棟安信博	立尾周仁	花房周英	村上文章	阪本真人	清家大毅	岩井誠	足立恭信	西村恭介
-------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU 日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

日教組中央執行委員長 2023年新春メッセージ

新型コロナウイルスの猛威は、3年以上にわたって市民生活に影響を与えています。公立学校共済組合の直営病院・宿泊施設で働く仲間にも深く敬意を表します。学校では、感染症対策により教育DXが急速にすすめられています。ICT機器をツールの一つとして、「ともに生き、学びあう」教育実践をつくり出していきたいでしょう。

4月1日より「こども家庭庁」が設置されますが、様々な分野にまたがる複雑な課題解決の中心となり、子どもの最善の利益のために機能させていくことが重要です。子どもの権利が保障されるインクルーシブな社会を実現していきたいでしょう。

文科省勤務実態調査の速報値が春にも公表されます。新型コロナウイルス対策やGIGAスクールにより一層苛酷になった長時間労働の解消と教職員の「生活時間」を取り戻すため、「給特法の改正」を求めるとともに、さらなる学校における働き方改革の前進につなげていかなければなりません。

新型コロナウイルスの影響に加え、原油価格等の高騰が続く、さらには急速な円安も進行しています。4月の統一地方選挙は、地域の教育とくらしを守るたまたかになります。組合員の政治への関心を高める努力をはかり、積極的なとりくみをすすめていきましょう。すべての子どもたちに平和で民主的な社会を引き継ぐため、組織の拡大・強化をはかりながら、未来につなげる運動を強化していきたいでしょう。

日本教職員組合
中央執行委員長
瀧本 司



子どもたちの「学び」と 教職員の「働き方改革」のために

兵庫高等学校教職員組合のみなさま、あけましておめでとございませう。

日々子どもたちのためご奮闘されているみなさんへ心より敬意を表します。新型コロナウイルス感染症の流行は第8波に入り、国内初の感染確認から3年が経った今でも収まることを知りません。学校ではWithコロナ時代の子どもの「学び」に、業務量は減ることがない状況です。どうか健康にご留意のうえ、本年もご活躍くださいますようお願いいたします。

昨年始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、いまだ終わりが見えません。私たちは、武力で平和は作れないことを痛感させられています。ところが現政権は、あろうことか「反撃能力」を保有するなど防衛力強化を打ち出しています。これにより、周辺国との緊張がより高まり、平和と安全に逆行することは言うまでもありません。私たちは平和外交の努力を積み重ね、憲法を守り生かす政治を求め続ける努力をおこたってはならないと考えます。

みなさんの学校では、給特法改正後に長時間労働や教職員不足が解消されたでしょうか。昨年、文科省による教員勤務実態調査が行われましたが、小手先の処遇改善では根本的な解決になりません。調査結果をふまえた給特法の抜本的な改正など教職員の処遇見直しと教育条件の改善を政府に求めていきます。

本年もみなさんと連携を密にし、日政連議員の仲間たちとともに、子どもたちの「学び」と教職員の「働き方改革」実現のため頑張ってください。

日政連国會議員団会長
参議院議員
水岡 俊一



子どもたちの明るい未来を守るため がんばります！

新年あけましておめでとございませう。昨年は皆様から多大なるご支援を頂きまして国政へのスタートに立つことができました。皆様の思い・願いをしっかりと受け止め、これからの国会活動に邁進していく覚悟です。

昨年の臨時国会では、計4回質問と発言の機会をいただきました。文教科科学委員会では「給特法の廃止または抜本的見直し」「全国学力調査の制度改革」について、憲法審査会では「憲法26条、義務教育はこれを無償にする」ことさえ守られていないのに憲法改正の必要はないということ、そして予算委員会では、第二次補正予算への反対討論で、「予備費や基金ばかりに予算が付き、『人への投資』が行われていない」ということを訴えました。まだまだドキドキしながらですが、ヤジが飛んでもひるまずに「がんばりました」。

話が上手でも、聞くのが上手でも、政治は結果を出さなければ意味がありません。「厳しい生活の方にしわ寄せがいく」そんな今の社会を変えなければなりません。子どもたちの明るい未来を守る、教職員が笑顔で働ける職場環境へ改善する、退職者がゆとりある生活を送れる、そんな社会をめざします。

通常国会でも、様々な教育現場での課題解決や改善、法改正に向けて尽力いたします。今年も少しでも多く全国へ足を運ばせていただき、たくさんの方の声を聴かせていただきたいと思います。皆様と連携して、力一杯がんばります。

参議院議員
古賀 千景



国際連帯カンパ・子どもの人権連カンパに引き続きご協力をお願いします！

「国際連帯カンパ」 世界各国の自然災害の被災者に対する緊急支援、子どもたちの教育支援や児童労働撲滅、途上国の人々の生活支援・民主化支援等のNGO・NPO支援を目的として実施しています。(100円/1口)

「子どもの人権連カンパ」 「子どもの権利条約具体化のための実践」助成事業、機関誌「いんぷおめーしょん」の発行等の活動を支えるために実施しています。(50円/1口)

各分会に送付してあるカンパ袋をご利用ください。職場のなかまやご家族、ご友人にもぜひ協力の呼びかけを♪

兵高教は、子どもたちの学びと教職員の生活に関わる情報を、迅速かつ正確にお届けします。